



山政醸造所のレンガ塙と
宝仙寺三重塔
レンガの積み方はフラン
ス式とか。築百年以上。

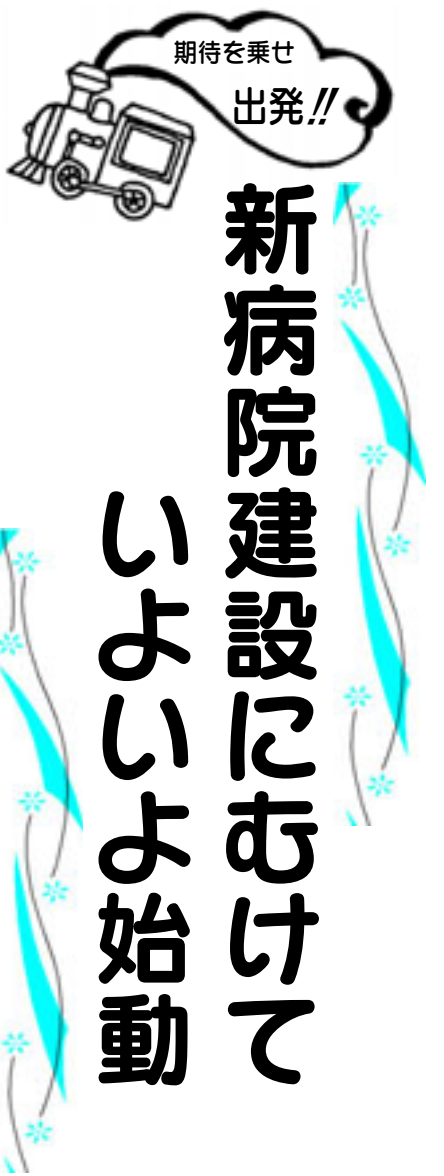
健友

第33号 2005年3月1日

発行 医療法人社団健友会／健友会友の会
〒164-0001 中野区中野5-44-3
TEL 03-3387-3051
FAX 03-3388-1381
編集 「健友」編集委員会
ホームページアドレス www.kenyu-kai.or.jp/



「画期的な採光システムで明るい病棟になります」と模型で説明する菅井事務長



新病院建設にむけて いよいよ始動

新病院が開院するのは、'06年秋の予定です。'05年1月31日で中野共立病院の4階回復期リハビリ病棟が休止しました。特に大きな問題もなく、建設は順調にすすんでいます。
病院建設中の医療対応について中野共立病院事務長の菅井一郎さんに聞きました。

病院建設は今の 場所で一括工事

新病院建設は、一旦病

院全体を取り壊し、今の中野共立病院の場所で行う一括建設工事をおこないます。そのため、中野共立病院の全病棟は3月末日まで閉鎖となります。
建設工事の1年半の間は、入院の受け入れができなくなります。
入院については、差額ベット料をとらない代々木病院などの中野共立病

入院の場合は責 任をもって対応

で閉鎖となります。

休日・時間外の 対応もしっかり

院と同じ系列（民主医療機関連合会）の病院や杉並・中野の病院等と連携を強めて対応します。

中野共立病院でおこなっていた救急対応は、4月末日で休止します。
診療時間外の対応は、中野共立診療所で、相談を受けて、診療もおこないます。

検査・リハビリ 透析医療は共立 診療所で

今まで中野共立病院でおこなっていたCTやエコー、胃・大腸の内視鏡などの検査および通所リハビリは、中野共立診療所で継続しておこなわれます。さらに、新しく透析医療も始めます。

外科手術は代々 木病院に集中

外科の手術は、代々木病院で集中しておこなう、山本医師ほか中野共

立病院の外来医も対応します。また外科外来は、今まで通り共立診療所で対応します。

医療の質と安全 の向上を目指し 一層の信頼を

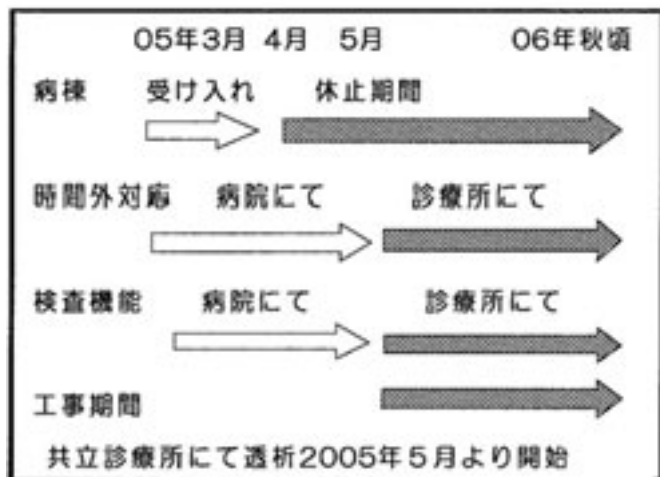
病院閉鎖中は、医師・看護師を始め多くの職員が他の医療機関へ出向し、いろいろな場所で経験を積んで帰ってくる予定です。

職員一同新病院の完成とその後の医療の質と安全の向上を目指し、皆さんに一層信頼していただける病院づくりに取り組めます。

出向先の職場で 頑張っています

中野共立病院で看護学生担当をしていた小沼正

新病院建設中の医療対応



小沼正和さん

リニックへ出向中です。「いっしょでは、医事課外

和さんは、今年1月より足立区の健友会の健友ク



青梅マラソン毎年完走
神田生まれの江戸っ子
いわさき けんぞう
岩崎 元蔵さん(68)
中野区鷺宮在住



2月20日青梅マラソンで30キロ完走、22回目です。河口湖や荒川堤のマラソンにも出場。岩崎さんが走り始めた動機は、車中心の生活で筋力が弱り椎間板ヘルニアに罹ったため。車をやめ、泳いだり歩いたり、そのうちマラソンに興味を抱き、以来ずっと走っています。「レース前も1日2万歩早足で歩く程度。走ってる間は何も考えてない、それが体いいのかも」と話す。マラソンで鍛えた健康を生かし、車椅子の人や障害者のボランティア活動も。

「幾つまで走れる？80代で走ってる人いますからね」歯切れのよい江戸弁で語る。あと20年は走れそうです。（聞き手 木村ケイ）

九条の会・中野

発足記念講演会 入場無料
3月10日（木）19：00より
中野ZERO小ホール
連絡先：090-4055-3706

わたし

昔、裏日本
といったが今
は日本海側、
今年の雪は19
年ぶりの大雪
となった。大

震災にあった新潟の人達のくらしはどんなかと、晴天、乾燥の続く東京で思う▼昨年からは、今年、夏の台風災害、秋に新潟中越大地震、年が明けての大雪、観測史上始めてともいわれるような自然災害が日本列島を襲った。南のスマトラ島沖の大地震と津波による災害もある▼「地球がおかしくなった」など考えもするが、資源浪費、環境破壊を顧みない人間の営みに自然が怒ったのか、「そんなことはない、ただほんのちょっと身震いしただけ」と地球はいうのか▼ますます「おかしくなった」のは政治の世界。海の向こうの帝王プッシュ氏の世界を我が物とする言動、従うこの国の首相の無責任節には怒りを通りこしたただ呆れ返る▼憲法論議が盛ん。9条、25条で平和とくらしを真ん中に据えるもうひとつの道を。（伊藤）

新会員338世帯 『いつでも元気』55部

友の会 強化月間

友の会会員拡大行動を2004年10月から2005年1月まで行い地域へ出る活動をしました。新病院建設を迎える年ということもあり、例年より大きな成果をあげています。

職員の未加入者への声かけから始まり、待合室や病院・いろいろな企画を通して幅広く訴えていきました。新たに入会した医学生（中野共立病院奨学生）は「患者の皆さんとサークル活動をしてみたい。皆さんとの関わりを通じて、患者さんに近い医師になりたい」と語っていました。

共立友の会役員や手配り協力者も大活躍。他県

やまと診療所の訪問行動では患者さんから「だ

れが来たかと思えばあんなにたたく。大変だね。友の会のことはあまり考え

てもいなかったんだが、これまでのつきあいもあるし、入会金5000円で済むなら」と入会。参加した職員は「地域に出てゆっくり話し、診療所をより身近に感じてもらう。やっぱり地域に出ることは大切ね」と重要性を語ります。



川島診療所の澤田所長、富田看護師長、友の会役員たちの地域訪問

憲法とくらし

シリーズ①



報道の自由が侵される

代々木総合法律事務所 弁護士 渡部照子

今年1月、NHK職員による内部告発によって、自民党の安倍晋三議員と中川昭一議員がNHKの「女性国際戦犯法廷」報道内容に政治的圧力をかけたか否かが問われる事件が明らかになりました。NHKは番組を変更

この巨大マスコミのやりとりは、憲法21条で保障する表現・報道

の自由を侵されたかどうかという問題でもあります。

私たちが主権者として政治のあり方を決定するためには、様々な情報を正確に知りうる必要があります。

戦前、日中戦争から日米等の太平洋へと戦争が拡大されましたが、その際には、新聞紙法や昭和16年に制定された新聞紙等掲載制限令などにより、情報が操作され、洗脳された国民は悲惨な戦争に動員されました。

今日でも、すでに有事（戦時）法制制定の結果、NHKや東京、

『いつでも元気』10部以上の拡大

共立友の会役員
榎本 博さん



自分の友人に『いつでも元気』の見本誌と直筆の手紙を一緒に送り誘っています。手紙には医療の問題や介護の問題など必ず書いて伝えていきます。『いつでも元気』の平和の問題・医療の問題の特集はとても魅力的でみなさんに読んでほしい。民医連は一つだから他の地域の方々にも拡大しています。

遊びに行くときは入会パンフを持って

中野共立病院学生担当
前田 寛さん



大阪、名古屋の民放19局は指定公共機関とされ、戦争の時には、政府が業務計画に介入できます。これは、地方局にも及ぼされつつあります。報道の自由が侵されるのです。

現在は「戦時」でなく、「平時」です。「平時」に私たちが権力による情報介入に無関心なうちに、操作された情報しか入らず、いつの間にか「戦時」を認める社会になりかねません。

常日頃、情報の正しさや報道の自由についても関心をもつ必要があります。

らこそ、いっしょに新病院を建てる同志になってほしいと思います。友の会の入会を勧めるため、「遊びに行くときは友の会の入会パンフを持って！」をこれからも実践していきたいです。

89歳の私にできること「手配り」

共立友の会役員
玉置 紀典さん



若宮1丁目の中の23人に配っていますが、自転車で2時間半かかります。顔をあわせて話したいと思う、いつも声をかけるのですが、留守が多くポストにいられて帰るのが心残りですね。

共立診療所でみんなで封筒にいれ、自分の配る分を持って帰ります。「健友」の手配りは今の私にできる健康保持の一

「手配り」への思い

西荻窪診療所友の会
篠原 博さん



「友の会の運営経費を少しでも軽くできれば……」というのが配り始めたきっかけ、と語る篠原さんは85歳。配産先で会員さんと出くわしたときは、体調のことなど聞きたいものの、会員同士の普段のつながりがないためか、なかなか話が弾まないのが残念……とい

「会の存在があつてこそ」と、真剣な眼差しのもと、頬をゆるめます。診療所の待合室で、一つひとつ配産物の確認をしている後ろ姿には、会への「思い」を感じずにはいられません。（聞き手 大越 哲也）

改憲反対と臨海副都心見学

集会に職員・友の会会員47人参加



港濱労組・関口委員長「毎日1億の赤字」と説明

憲法改悪・大増税反対！平和と社会保障を守れ！を掲げ2月10日（木）中央決起集会が日比谷野外音楽堂で行われました。全国から3500人が寒さ厳しいなか会場を埋め尽くしました。

中野共立病院前で、「大企業が栄えて、国民が困窮する政治をき

つぱり拒否します」と健友会のアップヒルを確認しバスで会場へ。集会では小池晃参議院議員の「憲法を守り、私たちが生かしていまし



よう」などの激励、続いて各界からの決意表明が行われました。集会参加のあと、臨海副都心を見学、都政の最大の無駄づかいともいわれる巨大開発の現状を目の当たりにしました。バスのなかでは、憲法論

健友編集委員長
青山 豊次

健友月刊化1年を迎えて

隔月刊だった「健友」を月刊にして1年たった。最初はどんなかと思っただが、みんなの努力でどうにか続けられた。ホッとしている。

毎月となると個人の力ではとても無理だ。編集長をはじめ編集部員の苦勞は大へんなものだった。ここに感謝し、労をねぎらいたい。

健康記事や医療問題が役に立つ、病院・診療所や友の会の様子がわかる、毎月届けられ励まされるなどの感想が寄せられている。月刊化してよかったなど本心に思う。

毎月発行となると気を許せない。作るほうも大変だが配るほうも忙しくなった。この間配布する人があちこちの友の会で増えたというのが喜ばしいことだ。

紙面の改善はつねに追求したい。職員、友の会会員が「健友」へのかかわりを一層強められることを期待する。

「世界に誇れる平和憲法を守れ!」と九条の会の9人



九条の会に想う(随想)

中野区弥生町在住 塩原 美恵子

「喘息もちの八十歳のばあちゃん」にも出来る
「憲法9条」は「いのちを守り法律」といわれます。今、全国のあちこちで「九条の会」が立ち上

「戦争の話をして下さい」といわれると私は「東京大空襲」と「戦時学童集団疎開」について話をします。それは「戦争が家を橋を病院も学校も何もかもぶちこわし、かけがえのない人間の生命まで奪い合うこと」「戦争中の子どもたちがどんな教育を受け、どんな暮らしを強いられたか」

俳句

中野区南台在住 鈴木 梅子

杉花粉飛散悩める二月かな

人生はいろいろ語録日脚伸ぶ

川柳

杉並区西荻北在住 大島 克弘

厄年といわれて変に納得し

武器持って普通の国へとなぜ急ぐ



中野区中野在住 小林 勝人

烏団子鍋と憲法紙芝居

天沼診療所友の会

犬山 征二

献立は烏団子鍋、大根と油あげの煮つけ、おしんこ、デザート。
「いい味が出て大変おいしかった」「プロ級です」の一言に役員も元気を貰いました。
2月2日(水)に天沼診療所友の会は食事を開きました。7人が参加し役員と一緒に家庭料理に舌鼓をうちました。

原稿募集

★町で拾った話、いま自分が感じていること、耳寄りな話、私の好きなこと、好きなもの、得意な絵や習字、俳句、短歌、クイズ、パズルなどなんでもかまいません。文章は200字程度でお願いいたします。紙面に掲載した方にお礼として図書券500円分を差し上げます



健友会友の会 FAX3387-5888

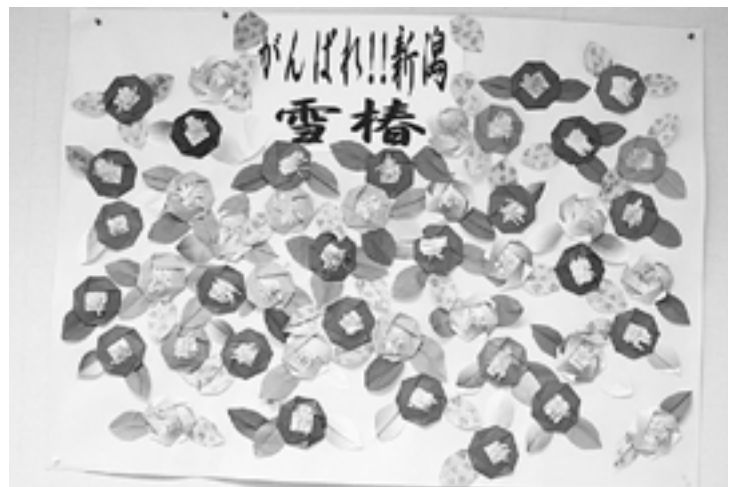


来年も参加するからね!

やまと診療所

事務 伊南 美則

やまと診療所友の会は、2月9日(水)に房総半島へ菜花摘みに行ってきました。



桃井診療所デイケア「がんばれ!!新潟 雪椿」おり紙で椿を作り、はりつけました

書

華揚(過ぎ去ったことは二度と戻らない)
中野区南台在住 前田 元一



2月の千葉は、一足早い春の訪れを感じる程の暖かい陽気で、天気も良く絶好の菜花摘み日和でした。
「今日の菜花摘み楽しみにしてたのよ!来年も計画してよ!」との参加者の嬉しい声。
当日は花摘みやいちご狩りもあり、盛り沢山の内容でした。参加して!楽しいですよ!

さあ摘みましょ



ふるさと大合唱
城診友の会の輪

城西診療所
事務 小俣 ちひろ

1月29日桃園地域センターで毎年恒例の新年会を行ない、地域の会員さん、職員56人がつどいまして、出しものも毎年趣向を

小石に描いた七福神
中野区上高田在住 江田 喜久雄



代々木病院腎臓患者会第34回総会に参加して
桃井診療所透析患者 山本 芳郎

1月31日、代々木病院腎臓会の総会に、健友会から患者4人とスタッフ3人・伊藤先生が参加しました。総勢70人くらいの参加で楽しいひと時を過ごしました。

そのなかには、30年間も、人工透析を続けている患者さんも元気で参加していました。20~15年の方々の中には二重・三重の合併症に苦しみながら頑張っている方が大勢いらっしゃいました。

凝らした米山淳子さんの手品、にぎやかな踊り戸上信さんの「安来節」は大人気、角田浅吉さん、小山キクさんの踊りもファンが多い。ギター&歌、手話ダンスなど盛りだくさんの内容でたのしみました。

原田杉並区議のギター伴奏、手話ダンスの方々、会場がひとつになって「ふるさと」を大合唱、「城診の輪」になりました。

飲んで食べて笑って



共立診療所も共立病院もこれから透析治療を始めようとしている時に、歴史を持つ桃井診療所の透析患者会は、代々木病院と力をあわせ、最低でも今の制度を守ることが必要だと総会で教えられました。

